

URGCCマトリクス

【学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表】

(琉球アジア文化学科)言語学学士教育プログラム

	URGCC学習教育目標	自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性
		自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身に付け、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、活用することができる。
学士教育プログラム学習教育目標	琉球・沖縄及び日本・アジアという地域を主な対象とする広範な文化のありようを深く認識する能力[専門的知識]			○	○	○	○	○
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) さまざまな知識・情報や日本語及び外国語の運用能力を用いて、相互に密接な関係のある地域の文化を深く認識・思考できる能力を目指すため							
	琉球・沖縄及び日本・アジアに関する歴史・民俗・文学・言語を理解し、言語学の研究で得られた知見を通して、地域及び国際的な場で活躍する高度な能力(専門的情報収集力)(社会的問題解決力)		○	○	○	○		○
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) さまざまな知識・情報や日本語・外国語の運用能力を用いて琉球・沖縄、日本・アジアという相互に関係のある地域の文化を理解し、それによってそれぞれの社会で活躍できる能力を目指すため							
	言語学の知見を通して、異なる文化背景をもつ人々と平和的に共生していく能力(社会的問題解決力)		○	○	○	○		
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 知識・情報や言語によってそれぞれの文化背景を理解し、かつ異文化をもつ人々と共生・交流できる能力を目指すため							
	言語学の知見を通して、議論や意見交換を通して、自らの考えを論理的に伝達する能力(情報発信力)	○	○		○		○	
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 他者との議論・意見交換によって、自らの考えを論理的に表現し、問題を自律的に解決できる能力を目指すため							
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)								
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)								